

令和7年度 横浜市新杉田地域ケアプラザPDCAシート_公表用
(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

杉田地区は海側の工業地、低地の市街地、丘の上に形成された住宅地に大きく区分されます。3つの鉄道駅を中心に昔ながらの商店街や商業施設が集まり賑わいのあるまちですが、丘の上の住宅地等では移動や外出に課題を持つ高齢者の方も多くいるため、住民同士の互助を支援していきます。また、健民祭等の多世代交流行事、健康づくり活動などが盛んである一方、老人会や子供会の運営継続等に課題もあります。第4期磯子区地域福祉保健計画をもとに、子どもから高齢者、外国にルーツを持つ方、障害のある方や病気などにかかわらず、誰もがお互いを気にかけてながら住み慣れた地域で安心して住み続けられる街づくりに取り組みます。令和6年度には杉田が子どもたちのふるさとなるようあいさつ運動などを実施しました。令和7年度も引き続き子ども・子育てを推進テーマとし、自治会町内会や団体の垣根を越えて地域全体で子育てを支援していくと共に、第5期磯子地域福祉保健計画の策定を進めていきます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	成年後見制度の利用や相談が増えており、制度利用が必要な方を早い段階から支援できるようにしていく。またサービス事業所や地域住民への制度の普及啓発を行い、早い段階で相談していただけるようにしていく。
☐	☒	「高齢になっても自分の足で歩き続けられる体づくり」を目指し、フレイル予防を推進する地域の皆様と共に周知・啓発を進めて行きます。
☒	☐	スイッチON杉田地区計画の推進および5期計画の策定について、地域での取り組みを、地域住民の皆さんが主体的かつ具体的に検討できるような体制づくりを行う。
☒	☐	杉田地区の地域活動についてまとめた情報ガイドを作成し、関係機関や地域団体と共有連携した情報発信をおこないます。
☐	☐	

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

☐ 区からのコメント